

第1回 住宅防音工事補助制度のあり方検討委員会
議事要旨

1. 日時 : 令和3年3月16日(火) 10:00~12:00
2. 場所 : 航空局C会議室(オンライン併用)
3. 要旨

○開催趣旨及び委員会規約について確認

○門山委員を委員長に選任

○事務局から資料により説明

○主な意見等は以下のとおり

資料6 経年劣化調査

- ・資料6の経年劣化調査について、航空機騒音による室内外レベル差測定では、JISでは5機以上とあるので少なくとも5機以上を対象にした方が良い。
- ・人工音源による防音サッシの遮音性能測定(内部音源法)では、屋外の調査地点数を減らすと正確に測定できない場合があるので留意して計測されたい。

資料6 防音工事対象世帯数及び世帯人数実態調査

- ・対象空港が8空港となっているが、大阪と成田は含めなくてよいか。

資料6 冷暖房機、換気装置、及びレンジ用換気装置設置状況調査

- ・設置状況では全体の部屋数をあわせて聞くなど考えていただきたい。

資料6 土地価格の動向が補助金や保証金に反映されている制度の事例調査

- ・土地価格に関するフローとストックの違いや、土地価格と分譲価格の違いを明確にする必要がある。
- ・住宅に関するデータベースは民間のインターネット調査等も活用できる。アンケートの設問にも留意が必要である。
- ・インターネット調査の場合、高齢の方に注意する必要がある。
- ・サンプリングに十分注意することが必要である。インターネット調査の対象には高齢者も多く入っているが、難しければこの方法に限る必要はない。

資料6 課題の整理について

- ・「転入者」の把握について、住民票などを用いないと転入者の把握はできないと思うが、自治体の協力も得ながら大まかでもよいので傾向を把握できるとよい。
- ・住民票から転入時期を把握するのは個人情報観点からも容易でないと思えるので、世帯数調査の中で本人から申告してもらう方法が良い。
- ・住民票を用いた調査は難しいと思えるので、アンケートなどでご本人から聞き出すのが良いと思う。

○実態調査の基本的な方針と概ねの内容について確認

以上